

2014年1月30日

オムロン基金プロジェクトによる研究プロジェクト申請書

申請者

所属 ビジネス研究科

氏名 村山裕三

1 研究プロジェクト名	伝統産業の精神性を取り戻す：ツトム・ヤマシタとのコラボレーション
2 研究メンバー	「伝統産業グローバル革新塾」担当教員 村山裕三（リーダー、DBS 教員） 大久保隆（DBS 教員） 浜矩子（DBS 教員）
3 研究目的	2007 年度に始まった「伝統産業グローバル革新塾」（「革新塾」）は、プロジェクトの最終的な局面を迎える。7 年間の「革新塾」の活動を通じて明らかになったのは、京都の伝統産業の衰退の裏には、伝統産業が具現すべき精神性が失われたことが大きな影響を与えている点である。本プロジェクトでは、この精神性を取り戻すために、世界的な音楽家であるツトム・ヤマシタ氏と組み、共同作業による製品開発を行うことにより、失われた精神性の復活をめざす。 「革新塾」は、文部科学省の助成を受け、京都の伝統産業の若手経営者へのビジネス教育を通じて、次世代を担える伝統産業の経営者を育成し、これにより、京都の伝統産業を活性化させようとする目的を持って発足した。 当プロジェクトは、2009 年度からはオムロン基金の助成を受け、京都の伝統産業のグローバル化をめざして、2009 年 11 月にはパリで「京都の赤展」を開催するなど、内外で様々な活動を企画、実施した。そして、2013 年 3 月末には、「革新塾」メンバーを中心にして「株式会社COS KYOTO」を大学発ベンチャー企業として設立するまでに至った。 一方、当プロジェクトは、2007 年より、宇宙航空研究開発機構（JAXA）とコラボレーションを行い、伝統産業の活性化の取り組みを行ってきた。また、この宇宙に関連したプロジェクトは、ツ

	トム・ヤマシタ氏との出会いをもたらし、これにより、世界最初の音が生み出す波動により布を染める「S・CORE」を製作するに至った（添付資料1参照）。昨年度は、ヤマシタ氏がプロデュースする「音禅法要」において、「S・CORE」により衣装を製作するとともに、参加者に配られたCD用の冊子を製作した（添付CDボックス、冊子を参照）。また、「S・CORE」のお披露目を東京財団主催の日米欧国際シンポジウム「グローバル社会と京都」（2013年6月8日）で行い、また、「S・CORE」でデザインした襖を製作して、妙心寺の如是院に収めた（添付資料2参照）。 これらのコラボレーションを通じて判明したのは、ツトム・ヤマシタ氏が、京都の伝統産業が失ってしまった精神性を引き出す才能を持つ点である。現在の伝統産業のプロダクトは、確かに技法は優れて美しいが、残念ながらそれを買った人の心に訴えるものが少なくなっている。この原因は、現在の伝統産業がかつて保持していた精神性を喪失したことによりもたらされたことが、「革新塾」の7年間の活動を通じて明らかになった。 このような背景を踏まえて、本プロジェクトでは、ヤマシタ氏とのコラボレーションをさらに深化させることにより、伝統産業に精神性を付与してその魅力を高め、これをビジネス化、グローバル化させることにより、伝統産業の本格的な活性化をめざす。したがって、本プロジェクトは今までの「革新塾」の活動の一つの終着点といえる。 なお、本プロジェクトは、京都の伝統産業活性化をめざした産学連携プログラムであり、オムロン基金プロジェクトの（7）京都及び関西地域における産学連携、地域活性化等の推進、をめざすものである。
4 研究計画	具体的には、以下の二つの計画を通じて、上記の目的の達成をめざす。なお、本年度は、精神性を付与するコラボレーションの芸術的な「形」を作るとともに、ここからビジネス化をめざすためのプロトタイプを製作する。 1) 「音禅法要」 2014年6月7日に大徳寺で開催される「音禅法要」において、ヤマシタ氏の音楽と伝統産業の香り（お香）、視覚（友禅染）、触感（清水焼）を融合させる試みを行う。 「音禅法要」は、ヤマシタ氏のプロデュースにより、ヤマシタ氏が奏でるサヌカイト音楽によって、西洋音楽と東洋音楽の融合、禅と神道の融合などをめざして実施されてきた法要である。本年度は、上賀茂神社と今宮神社の宮司が招かれ、神道の儀式を

	大徳寺で執り行う予定である。 今宮神社は、西陣織などの伝統産業、ひいては京都の伝統的な「ものづくり」の守護神的な役割を果たしてきた神社である。このため、禅寺である大徳寺、「ものづくり守護神」の今宮神社が同居する環境は、伝統産業に精神性を吹き込む理想的な環境といえる。本プロジェクトでは、この環境に合致したプロダクトをヤマシタ氏とのコラボレーションを通じて製作し、これをヤマシタ氏のサヌカイト音楽と融合させて、参列者に披露する。なお、伝統産業側の製作は、「革新塾」のメンバーである川邊祐之亮（友禅作家・デザイナー）、加藤泰一（陶磁器作家）、藤本悌志（香調合師）が担当する。 2)「秋プロジェクト」 ヤマシタ氏と伝統産業のコラボレーションが最終的にめざすのは、五感（音、視、嗅、触、味）に訴える、多くの要素を融合させた新たな禅表現である。すでに、音ーサヌカイト音楽、視ー友禅染「S・CORE」、嗅ーお香は、昨年度のプロジェクトで完成しており、「音禅法要」では、これに触（清水焼）が加わる。 そして、「秋プロジェクト」では、これに「味」の要素を加え、完成形をめざす。それとともに、この芸術性の高い表現から導き出される、ビジネス化をめざした、より商業的なプロットタイプを製作する。 なお、この時期に駐日大使のキャロライン・ケネディ女史が、京都を訪れる予定があるとも聞くが、もし、日程などが合えば、ケネディ女史への京都からのプレゼントを、このプロジェクトから生み出し、広報の一助としたい。
5 期待される成果	本プロジェクトは、このようなプロダクトをまず国内で展開する。ここから生まれたプロダクトに、芸術性から吹き込まれた精神性を宿すことができれば、これは従来の伝統産業の殻を破る、画期的なプロダクトになりえる。これらが市場で認知され、受け入れられれば、これは、精神性という軸を加えた、伝統産業の新たな形を世に示すことになる。さらには、これらを、五感による禅表現とともに、海外（フランス。トルコなど）へと展開する計画（2015年度）であり、これが海外市場でも受け入れられれば、「革新塾」が掲げてきた一つの目標が達成されることになる。
6 研究成果の発表方法	上記の「音禅法要」と「秋プロジェクト」により成果の発表を行う。また、両イベントのパンフレットを製作し、本プロジェクトの意義、目的などについての説明を行う。

添付資料 1 音による染「S・CORE」



添付資料 2 如是院 襖絵

